

2021（令和3）年 IEC活動推進会議（IEC-APC）議長賞受賞者

電気・電子分野の国際標準化機関であるIEC（国際電気標準会議）の活動は、市場のグローバル化に対応してますます重要性が高まっています。IECへの日本の貢献と産業界の意見反映を目的に平成3年に設立されたIEC活動推進会議（IEC-APC）は、日本提案のIEC分野で顕著な貢献をした個人またはグループを毎年表彰しています。

本年は10名を、令和3年5月28日(金)の第31回IEC活動推進会議総会（リモート開催）で表彰しました。

※受賞者の所属企業・団体については、活動期間における主な所属先を示します。

議長賞（敬称略・50音順）

荒牧 隆子 [パナソニック株式会社]

IEC TC 59（家庭用及びこれに類する電気機器の性能）のWG 15（スマートグリッド接続および機器間相互作用）のコンビナ、IEC SEG 11（将来の持続的な輸送）のWG 1（ユースケース収集）コンビナ、IEC TC 120（電気的エネルギー蓄積システム）のWG 4セクレタリ及び国内WG主査、IEC SyC LVDC（低電圧直流システム）CAG委員などを務め、我が国の省エネ機器や再エネ機器の価値向上につながる国際提案活動や規格文書作成に貢献した。

川久保 直喜 [TDK株式会社]

IEC TC 51のWG 9において10年にわたり日本提案の規格開発に関わり、2012年から2015年の間はWG 9日本委員会の主査として、また同時に日本提案の規格のProject Leaderとして常にWG活動をリードし、インダクティブ製品のIEC規格における日本優位な規格化実現に大いに貢献した。

久保田 文人 [一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター]

近年、注目されているWPT（無線電力伝送）に関し、その漏えい電波が既存の無線設備に妨害を与えることのないよう平成28年の国内法整備化に尽力され、CISPR 11においては、CISPR B/AHG 4の議長として国際標準化に活躍され、国内外で電磁環境保護に多大な貢献をしてきた。

小山 良 [日本電信電話株式会社]

IEC SC 86B（光接続部品、光受動部品）の国際副幹事、およびSC 86B/WG 6（光コネクタ）とTC 86/JWG 9（光実装回路）の国際・国内委員として、光コネクタの製品規格、光学互換標準の標準規格化に幅広く貢献した。

末光 吾郎 [NECプラットフォームズ株式会社]

IEC TC 48（電気・電子機器用コネクタ及び機械的構造）のSC 48D（電子機器の機械的構造）の国際議長及び国内委員会委員長として、電子機器用ラック等の機構・構造、品質に関わる試験方法等の規格化、熱パフォーマンスに関するガイド作成、規格普及、応用活用の啓発に幅広く貢献した。

塚本 直之 [音羽電機工業株式会社]

長年のIEC SC 37Bのエキスパートとしての貢献が国際的に認められ、IEC SC 37B/WG 1コンビナに就任。同国内委員会においてもSC 37B担当委員長として強力なリーダーシップを発揮し活動している。また、日本国内でTC 108とのリエゾン委員としても活躍中である。

羽馬 洋之 [三菱電機株式会社]

IECと連携するCIGRE（国際電力システム会議）で、自然系ガスに関するWG D1.51（環境に配慮したガス絶縁システム）などのWGコンビナを歴任し、日本優位の技術報告書（TB 571, TB 730）を発行。代替ガス関係のIEC 62271-4規格改定においてTB 730の内容をIEC規格へ反映し、その国際標準化に尽力した。

松本 達幸 [日本アイ・ビー・エム株式会社]

2005年からIEC TC 108（AV、IT機器の安全性）の国内委員として約15年間、2016年から国際エキスパートとして、継続的に標準化活動に関与し、特に従来規格IEC 60950に代わるIEC 62368新シリーズに関し、開発製造業者の立場から意見の国際規格への反映・改良に貢献した。

森 宏 [横河電機株式会社]

プラント制御システム開発の長年の経験とコンソーシアム規格制定の経験を基に、スマートマニュファクチャリング関連の国際標準化の黎明期から大きな貢献をすると共に、大規模組織であるIEC TC 65国内委員会の幹事として標準化活動の推進に大きく貢献した。

吉田 功 [一般社団法人日本電機工業会]

IEC TC 82（太陽光発電システム）に、品質に係わる規格を新たに提案し、安全及び性能規格に対して改正提案を行うなど、日本の電機産業業界に貢献した。また、これらを認証するための IECRE の中のPV 認証制度についても運用の立ち上げに貢献した。

以 上